

# 本を選ぶ

## 高校図書館版

NO.29 2000年(平成12年)5月10日

●発行/ライブラリー・アド・サービス  
本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28-517 TEL=03-3235-6168

ぶつく・えんど

### ケータイ

街中を歩いているとき、肩口の後ろすぐそばで、いきなりひとりでしゃべっている声かして、驚いて振りかえった経験をお持ちでしょう。

身近で最初に携帯電話を持ったのは、移動中も仕事の連絡が必要な人でした。それもほんの4・5年前です。そのころはまだ通信可能な範囲が狭く、充電もすぐ切れていましたので、携帯している人も慌てて公衆電話から連絡の続きをすることもあったようです。それがいつの間にやら知人友人が持ちはじめ、「携帯が要りような暮らしをしているの？」なんて憎まれ口をたたいていたのもつかの間、自分自身が携帯するようになり、あれよあれよという間にこの国では、一家に数台の携帯電話があるという状況が広がっていました。用途も広がりました。悪い方に使われて、今までにない形の犯罪が発生していることが報道されていますが、いっぽう携帯電話をテーマに投書で編まれた特集記事を読むと、それぞれが携帯電話を活用して暮らしているさまは驚くほど多様です。供給が需要を喚起しているところは、まるで図書館のようです。

携帯電話が普及するにつれて、乗り物や病院内では使わないなど、マナーもすこずつ形を整えているようですが、電車に乗る直前まで、近況や最寄りの駅への出迎えを依頼したり、降りるとき

は、片足がホームにつくや「もしもし、今…」と始める人もいます。飛行機の機内でも禁止されていますが、着陸するや「もしもし」と始めて、スチュワーデスの注意を受ける人が必ずと言っていいほどいるものです。

とはいえ、今や携帯電話で電話ではなく、メール交換をするのが若者間では普通のこと。声を出さなきゃいいんでしょとばかり、「電源をお切りください」のアナウンスにも素知らぬ顔。夢中になって小さい液晶の画面に見入って指を動かしている姿を見かけます。先日知人が、最近携帯電話で楽しんでいるという話を始めました。それもメール交換で。メル友は高校二年生の末息子。息子さんは気にしなくていいと言うけれど、彼女は学校の時間を見計らってメールを入れてるとか。どんなメールを？ 「こんな風の強い日は、部活もお休みかもしれませんね。早くうちに帰って来られるのでしょうかとか、…。息子はうれしいですよ。私も息子の返事に気持ちが暖くなるよ」。

先だって観光客として、ほんの少しパリの街を歩いたり、地下鉄や列車に乗って郊外に出かけました。昼下がりのモンパルナス駅前広場では、高校生でしょうか、大勢で輪になって、ひとつのボールを回して興じていました。それを同じグループと思われる若者たちがやんやとはやしていました。また夕刻、シャトレのカレッジから出てきた若者は三々五々狭い石畳の路地を駅にと向かい、列車でふた駅がすぎるころにはみな降りていました。短い滞在でしたが、日本の若者のように携帯電話を携帯している若者に出会いませんでした。彼らが校内で、携帯電話でメールをしているとは考えにくいものがあります。(鈴木靖子)

## 司書が正規採用になった日が 図書館記念日-続-

神戸の下町にある神港学園高校の図書館司書の木下さんは、図書館館長の川端先生と一緒に働きはじめて、9年目を迎えました。パートだった木下幸代さんが、図書館専従の職員となった日を神港学園図書館記念日としたことは前号でご紹介した通りですが…

### 休憩時間には閉館

図書館の開館時間を、学校の時間に合わせて8時半から4時半までとしました。その間に1時10分から40分までは、木下さんの休憩時間として、閉館にしています。以前は休憩時間もとらないで一日中開館し、閉館時間は5時でした。夜遅くまで仕事をする事もあって、腰を痛めて入院してしまいました。現在は、無理をしてかえって図書館の仕事に支障をきたさないように心がけています。時間に余裕ができたことで、あらためて仕事を一つ一つ見直す余裕が生まれました。

「図書館にないやろ」から「あるかもしれない」へ

図書館の活動が本格的に活発になって、レファレンスが増えたため、分類目録と著者目録に加えて書名目録を作るようになりました。リクエストの本は翌日に手渡せるようにしています。リクエストの本は子どもたちに人気のあるものが多く、はやく、多くの子どもたちに手渡したいのです。

新聞や雑誌に載った書評を、こまめに紹介する書評のファイルを作ったり、新しい展示の工夫をすると、子どもたちがすぐに反応してくれ、リクエストも着実に増えています。顧問の先生はご存知ないようですが、運動部の子どもたちも練習方法などの本を借りにくるようになりました。

また昨年度は、図書館の資料を使って調べ学習をしたいと社会科の先生から申し入れがありました。合計で3時間の授業には、木下さんも資料紹介の時間をもらいました。これは、昨年度の図書館ビッグニュースでした。まだまだやりきれない仕事が多いと感じている川端先生と木下さんにとっては、ほんとにうれしい出来事でした。

カウンターの中に入るのは木下さんだけ

以前は川端先生や図書委員の子どもが入ることもありましたが、木下さんの希望もあり、今はカウンターで貸出や返却業務をするのは木下さんひ

とりだけです。最初のころ、図書館にやってきた子どもが大勢でカウンターの中に身をのりだすようにして、本とは関係のないさまざまな話を木下さんに語りかけてきました。男子校でもあり、木下さんが支えきれない状況になることもありました。そこで、カウンターに新しく入った本を一段並べて、子どもたちとの距離をとるようにしました。それをきっかけに本の話題が中心になり、子どもたちも落ち着いてきました。

### 司書教諭と司書のチームワーク

図書館に関わる仕事をなにもかも、はっきり文字にして、どちらか一方しか携われないと杓子定規に決めてしまわない方が良く川端先生も木下さんも考えています。この5年間の間に二人ですること、主に一方がすることの仕事の分担も自然に明らかになってきました。对学校のことは川端先生が、カウンターやフロアワークなど図書館の中で子どもに直接働きかけるようなことは木下さんがというように。オリエンテーションでは、「本読んだことないんやけど、ほくに読める本ありますか」「あるにきまつてるやないの」というやりとりが毎年のようにありますが、年度末の統計で、貸出の数が年々増えてきているのは、木下さんにとってとりわけうれしいことです。

木下さんは、川端先生が司書の専門性をとても尊重してくださる館長さんなので、自分は安心して図書館のことに専念できると考えています。

選書は、教員の図書委員会にかけて承認をもらうというような形式を踏むこともありますが、ほとんどは二人で話し合っ決めて決めます。傾向としては、木下さんはカウンターでの手応えと予算の消化具合を考えながら選ぶことが多く、川端先生は主に教科関連のものを選びます。

控えめな木下さんが最後におっしゃった言葉が神港学園の図書館を言い得ていました。「これは自分がやりますからと先生に申し上げてるのが、カウンターの対応です。子どもたちの自然な反応や要求が図書館を前に押して、神港学園の図書館で次に何をすればいいのか教えてくれるからです。ゆっくりでも着実に歩いてゆきたいと思っています」。(2000.3.12 於神港学園高校図書館)

# 新任司書の皆さんへ、2年前の新任司書より陣中見舞申し上げます

宮崎健太郎

仕事や職場、生徒たちにはもう慣れましたか？おそらく、まだよく分からないというのが本音ではないでしょうか。特に、公共図書館に就職するつもりで司書の試験を受けた方、一般行政職員なのに図書館担当になってしまった方などは、まだ戸惑っているかもしれませんね。なにしろ突然、名前も知らない学校の校長から連絡が入り、その数日後には小さいながらも図書館一つを任されてしまったわけです。そんな状況では戸惑わないほうが不思議です。私自身は初めから学校司書希望だったのですが、それでも新任だった2年前の今頃の時期はスリルとサスペンスの毎日でした。

悲しいかな、ほとんどの場合、司書は学校の一人でしかない孤独な存在です。何をしたらいいのか、どうやって仕事をしたらいいか、といった初歩的なことですら、そばについて手取り足取り教えてくれる人がいません。でも、だからといって仕事から逃げていては、いつまでも同じ悩みを繰り返すだけの日々になってしまいますよ。

仕事の内容や進め方についての疑問は、比較的簡単に解決の糸口が見つけれられると思います。前任者が残してくださった引き継ぎノートを読んだり、前任者や近隣の学校の司書さん、図書館担当の教員に聞けばいいのですから。最終的な解決までこぎつけるかどうかは別にしても、それなりにやり過ごしていくことができるはずですよ。一方、生徒や教員の生態や校内の様子は自分で把握するしかありません。職員や生徒たちとの人間関係、特に信頼関係に関する悩みも、最終的には自分で動かなければどうにもなりません。結局、肝心な部分は自分で解決するしかないのです。

とはいえ、その悩みを一人で抱えこむ必要はありません。前任者をはじめ、他校の司書さんたちは、今、皆さんが味わっている「新任の苦しみ」をどなたも経験しているのです。同期の司書仲間だって、きっと同じような悩みを抱えています。先生や生徒だって、理解してくれる人がいます。ですから、まずは相談できる人を見つけてどんどん相談してみてもいいのではないでしょうか。きっと、自分

では見つけられない切り口からの解決法が得られると思います。また、学校で入っている研究会に積極的に参加したり、個人的にも司書の学習会に顔を出したりしていると、今の悩みどころが後々の悩みも解決できるかもしれませんし、相談相手がグッと増えます。学習会の後に司書どうしでのコンパのお誘いがあったら、そこで日頃の鬱憤を思いっきり発散するのも悪くないですね。

また、分からないことには思い切って「勉強不足で……」と聞き直ってみてはどうでしょう。もちろん聞き直ったまま逃げていてはダメですが。司書の仕事をする上で一番大切なことは利用者との信頼関係だと私は考えています。その点から考えると、利用者としては、変に気負った対応をする新任司書より、聞き直っているけれど一生懸命に対応してくれる新任司書のほうに好感を持つとは思いませんか。そうすることで利用者の司書に対する関心を高められるばかりか、司書自身が利用者から情報やアドバイスをもらうこともあります。司書を育てるのは利用者だと言われますが、きつとこういうことを指す言葉なのでしょう。

さて、3年目を迎える私自身、どれだけ仕事に自信が持てるようになったかと言うと、実は新任の頃とあまり大差がありません。さすがに、何をしたらいいのかということとはなくなり、毎年の決まった仕事に慌てて対応することも減りました。生意気な性格が災いしてか周囲からは自信たっぷりに映るらしく、「あれ、まだ3年目だけ？」などと言われることもあります。でも、仕事の進め方や仕事の上での人間関係など、本当は仕事の全般にわたって悩むことばかり、自信なんてとてもありません。3年を経たとしても、本当のところはそんな程度なのです。

だから、新任司書の皆さん、気負わないで気楽に仕事をしてみませんか。楽しそうに仕事をしていれば、そのうち利用者の側から寄ってきてくれて、あなたの良きサポーターになってくれると思いますよ。

(みやざきけんたろう：埼玉県立小鹿野高等学校司書)

# 授業との連携は学校図書館の醍醐味—その2—

## ブックトークに挑戦しよう！

木下 通子

木下 通子

2000年の春です。うちの学校の図書館は、昨年の暮れまでにパソコンとソフトの更新が終わっていたので、何事もなく2000年を迎えることができました。「Lib Max」という市販のソフトに今までのデータがそのまま移行できたので、苦労せずに作業が進み、今では雑誌もバーコードで貸し出しできるようになって、本格的にペーパーレスの図書館になりました。「かすぞう君」で四苦八苦していたので嘘のようです。

さて、今回は授業との連携の中で、調べ学習への対応についてお話してきました。調べ学習は事前準備がたいへんで、実際に授業が入ってからの方が気持ちに余裕が生まれます。

授業に入る時に気をつけていることとしては、授業の一時間目に、資料の説明をさせてもらうこと。ブックリストを作ったのならそれを提示しながら、本をコーナーに分けていること、これで資料が足りなかったら司書まで申ししてほしいということをお伝えします。それから、必要に応じて、教師といっしょに机を回って生徒から資料についての質問を受けたり、要望に応じて、足りない資料を探したりします。締め切りに間に合わなくなると、自主的に放課後残って勉強していく生徒もいます。日常のカウンターでのやりとりとは違った生徒との会話が楽しめて、私はこの時間が好きです。

レポートの提出期限がすぎたら、本を片づける作業に入ります。コーナーを崩し、他校から借りた本の紛失がないかチェックし、各校に本を返却します。

生徒たちが書いたレポートを、私も見せてもらっています。レポートには調べ学習を行った感想が書いてある場合が多いので、そこを中心に読みます。特に、「もっとこんな資料がほしかった」などの要望をチェックして、次回の反省とします。回を重ねれば重ねるほど、こちらも万全の準備ができていくので、調べ学習への対応も上手

にできるようになってきます。

## ブックトークに挑戦しよう

専門職の司書として、経験してみたいと思うのが「ブックトーク」です。生徒の反応が直に返ってくるし、こちらも「やった！」という満足感に浸れます。私は、ブックトークに必要なのは、まず度胸だと思っています。「生徒の前で本を紹介して聞いてもらえるかしら？」「そんなの恥ずかしい…」という気持ちを捨てて、チャレンジするのが第一歩です。

新人司書の頃の研修会でブックトークについて勉強し、やってみようと思いました。思ったのはいいのですが、こちらから売り込まないと、教師からブックトークを頼まれることはありません。そこで、仲良しの教師に頼んで、ブックトークをさせてもらうことにしました。ちょうど英語で「ヘレンケラー」について学んでいる時で、その教師は、「教科の内容とは少し離れるけれど、時間に余裕があるから、障害を持った人の生活について理解を深められるような内容で本を紹介して」と、私にチャンスをくれました。

最初の時は事前に『ブックトーク入門』（教育史料出版会）などの本を読んで組み立てを考え準備をしたのですが、いざ生徒の前に出ると思うように話が展開できません。その時に使ったのは、目が不自由な人の生活を紹介する絵本『朝子さんの一日』（小学館／1993年刊）。盲学校の先生が生徒との日常を書いた『ほんとは見えているよ』（大澤睦子著／学習研究社／1994年刊）。実際に障害を持った人が書いた本として『あつかんべえ』（松兼功著／労働旬報社／1996年刊）。『愛、深き淵より』（星野富弘著／立風書房／1981年刊）の4冊でしたが、本の中のどこの文章を紹介したらいいかですらいぶん悩みました。生徒にとっても授業で本を紹介されるというのが初めてだったので、話は静かに聞いてくれたのですが、こちらも手応えが今一歩で、ブックトークで

聞き手の気持ちを引きつけられるかどうかは、話の展開の仕方と、本の選び方にかかっているとしみじみ感じました。

### ブックトークをさせてください

ブックトークは数をこなせばこなすほどコツがのみ込めてくると思いました。そこで、それからはブックトークをさせてほしいと、積極的に教師に声をかけることにしました。最初は「ブックトークって何？」という感じだった先生方も、実際に見てもらったりしながら話をしていくと、自分の授業でも使ってみようかという人が増えてきました。「ブックトークができます！」と宣伝するのとあわせて、「本の朗読もします！」と宣伝していたので、国語の先生に朗読を頼まれることも増えてきました。小学校の図書の時間のようですが、高校生も本を読んでもらうのは好きなようです。教科書に出てくる題材を朗読することもあれば、教科書で取り上げられた作家の別作品を朗読することもあります。また、お楽しみの時間のような形で、教科書と離れた本を読んだりもします。『本当は恐ろしいグリム童話』（桐生操著／KKベストセラーズ／1998年刊）が流行った時に本物のグリム童話の赤ずきんちゃんとの読み比べをしたら、なかなか好評でした。朗読はブックトークほど、話の組み立てなどに頭を悩ませる必要がないので、「ブックトークをやりたいけどまだちょっと自信が…」という方には、ぜひおすすめです。お楽しみの時間であれば、LHRの時間などでもできるのではないのでしょうか？

### 年間計画に組み込まれたブックトーク

ブックトークが馴染みあるものになってくると、年間計画の中に組み込んでくれる教科も出てきます。今、うちの学校では家庭科がそうです。三年生の家庭科で保育の授業があるのですが、その導入で毎年ブックトークをさせてもらっています。導入のブックトークなので、保育そのものに関してよりも、性・妊娠・出産に関連する本を紹介して、保育に関する動機付けをしようというの

### ブックトークのマニュアル

- ①事前準備に入る前に
  - ・ブックトークの実演を見る
  - ・ブックトークに挑戦しようと決心する
  - ・教師へ働きかける
- ②本を選ぶポイント
  - ・依頼された時間に合わせて冊数を決める
  - ・本の内容を把握する
  - ・自分が良いと思った本を
  - ・ブックトークに向いている本を
  - ・経験者に相談を
- ③事前準備
  - ・教師と話し合っただけを明確にする
  - ・教師にも事前に読んでもらう
  - ・教師の要望をとりいれる
  - ・読む練習を
  - ・実際にやってみて時間配分を決める
- ④いざ、ブックトーク
  - ・役者になったつもりで演じ手になりきる
  - ・大きい声で堂々と
  - ・多少間違えてもアドリブでしのぐ

が目的です。ここ3年ほど同じ形で関わっていますが、生徒の反応をみながらそのつど担当の教師と反省会を行って、話の組み立てと紹介する本を選んできました。その中で定番で紹介しているのが、『さらば、悲しみの性』（河野美代子著／高文研／1985年刊）と『おかえりなさい、おかあさん』（久田恵著／PHP研究所／1992年刊）の2冊です。『さらば…』の方は有名な本なのでみなさんもお存じだと思いますが、うちの学校では保健体育の授業でもよく使われます。ブックトークの導入に使うことが多いです。15歳の女の子が子宮外妊娠で運ばれてくるシーンを朗読しています。男子にも女子にも、かなり衝撃的な内容なので、この本で聞き手をぐっとこちらに引きつけることができます。

『おかえりなさい…』は、子どもと親との日常



資料1 初めてのブックトークプログラム  
(英語科 ヘレンケラーについて学んでいる時)

・『朝子さんの一日』(小学館/1993年刊) : 目が不自由な人の生活を紹介する絵本

・『ほんとは見えているのよ』(大澤睦子著/学習研究社/1994年刊)

盲学校の先生が生徒との日常を書いた本

・『あっかんべえ』(松兼功著/労働旬報社/1996年刊)

・『愛、深き淵より』(星野富弘著/立風書房/1981年刊)

上記の2冊は実際に障害を持った人が書いた本

・本の中のどこの文章を紹介するかで悩みました



資料2 この3年間毎年やっているプログラム  
(家庭科 保育の授業)

目的: 性・妊娠・出産に関連する4、5冊の本を紹介して、保育に関する動機付けを

・はじめは(定番): 『さらば、悲しみの性』(河野美代子著/高文研/1985年刊)

15歳の女の子が子宮外妊娠で運ばれてくるシーンを朗読。かなり衝撃的な内容なので、聞き手をぐっとこちらに引きつける

・締めくくりは(定番): 『おかえりなさい、おかあさん』(久田恵著/PHP研究所/1992年刊)

子どもと親との日常の関わりを会話形式でつづった作品集。短い中でじんとくるお話が多く、1、2話を朗読。

・定番の間に入れる本は、流行の本なども取り入れながら変える。昨年は『五体不満足』(乙武洋匡著/講談社/1998年刊)の出産シーンなども盛り込みました。

の関わりを会話形式でつづった作品集です。短い中でじんとくるお話が多く、ブックトークの締めとしてその中の1、2話を朗読しています。ブックトークというと話の一部を聞く形が多いのですが、この作品だと朗読を聞く感覚でお話を楽しめるので生徒には好評です。自分が子どもを持ったらどんな子育てをしたいかを思い描きながら、お話を聞いてもらうようにしています。

一時限のブックトークでは、4、5冊の本を紹介するわけですが、間に入れる本は毎年、流行の本なども取り入れながら変えています。昨年は『五体不満足』(乙武洋匡著/講談社/1998年刊)の出産シーンなども盛り込みました。

自分が良かったと思う本を

ブックトークで使う本を選ぶためには、本の内容をきちんと把握してはいてはけません。その上に、自分が読んで良かったと思う本

でなければ、相手に本のおもしろさが伝えられません。どんなにおもしろい本でも、ブックトークするのに向かない本だってあると思います。そういう意味で本選びは難しいのです。ブックトークをするようになってから、選書の際にも「この本ブックトークで使えるかな?」と考えるようになりました。

教科との連携は、学校によって、教師によってさまざまな形があると思います。でも、ブックトークは図書館の中でも学校図書館独自のサービスですね。利用者の違った一面も見る事ができるし、資料を揃えるという点でも、司書として腕を振るうことができます。こんなおもしろいものに挑戦しない手はありません!

(きのした みちこ: 埼玉県立岩槻商業高校司書)

日本史・日本文化研究に必要不可欠な文献を網羅

# 日本史文献解題辞典

加藤友康・由井正臣編 四六倍判/二〇〇〇円

日本史や日本文化を学ぶ上で必要不可欠な文献史料を詳細に解説。歴史・文学・芸術・宗教・民俗など、広範な分野の文書・記録・典籍から金石文・新聞雑誌・叢書に至るまで四七〇〇余項目を収めた最大最新の文献辞典。(内容見本呈)

総項目六三〇〇、最大最新の民俗百科誕生(内容見本呈)

## 日本民俗大辞典 上・下

全2冊完結 特價各一八〇〇〇円(9月30日まで)  
期限後各二〇〇〇〇円 四六倍判・函入

福田アジオ他編 日本列島の多様な民俗文化を解明。沖縄・アイヌなども視野に入れた、質量ともに最高水準の民俗大百科

価格 東京都文京区本郷七丁目一八  
別館 電話〇三三三八二一九一五

吉川弘文館

## 著名人が語る〈学びのヒント〉

全10巻 定価：揃本体 35,000円+税  
各界の専門家・識者52人が語る講演録集成  
21世紀を考える 時代を超える先人の知恵

## もだん時代小説

全15巻 定価：揃本体 54,000円+税  
「くらしっく時代小説」「ポピュラー時代小説」  
に続く第3弾 監修・尾崎秀樹

## ほっとミステリーワールド

全15巻 定価：揃本体 42,000円+税  
いま人気最高のミステリー、  
サスペンス作家が勢揃い!

リブリオ出版 〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-11  
TEL.03-3943-8885 FAX.03-3943-3540

—中学生からの全方位独学法—

# 虚数の情緒

吉田 武(よしだ・たけし) 著  
工学博士(数理工学専攻)

この本は人類文化の全体的把握を目指した科目分類に拘らない「独習書」である。歴史、文化、科学など多くの分野が、虚数を軸に悠然たる筆致で書かれている。また人生の「参考書」ともなるよう、様々な分野の天才達を縦横に配した。漢字、電卓の積極活用なども他に例の無い独特のものである。

A5判・上製本・1032頁/定価(本体4300円+税)  
I.S.B.N 4-486-01485-5 C3041 分野/自然科学(数学)

東海大学出版会  
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4  
TEL.03-5478-0891 FAX:03-5478-0870  
URL <http://www.press.tokai.ac.jp/> E-mail:webmaster@press.tokai.ac.jp

激動の80~90年代、世界と日本の  
現在をつかむ必携の一冊。

## 世界大百科事典(補遺版)

# アルマナック

3月末発売

〔構成〕第1部〈一般項目〉編  
第2部〈国名・県名〉編  
第3部〈便覧〉編

〔体裁〕四六倍変型判、550ページ  
定価：本体8,500円(税別)

平凡社 〒152-8601 東京都目黒区碑文谷5-16-19  
TEL:03-5721-1234 FAX:03-5721-1239

# 『刀水』No.2

■対談■  
大濱徹也—樺山紘一—  
「現代を生きる歴史学」

『刀水』第2号が出来ました。おかげさまで、増刷した創刊号は大好評で、残りわずかとなりました。第2号の対談は33頁。後半に「刀水書房出版図書目録」が付きま。書店または直接刀水書房にお申し込み下さい(無料)

近世日本対外関係文献目録  
中田易直編/B5・940頁・本体5万円/1868~1993  
年刊行の文献、3万点を収録/著者名索引9200件

発売中 好評

東京都千代田区西神田2-4-1  
Tel.03-3261-6190 Fax.3261-2234

## 刀水書房

## しのびよる化学物質汚染

最新刊●安原昭夫(国立環境研究所総合研究室)  
化学物質汚染の蔓延する今、どのようにしたら持続可能な社会が作られるか。科学的データをもとに、その未来像を提言する。 定価1890円

## 遺伝子組み換え作物と環境への危機

最新刊●ジェーン・リスラー マーガレット・メロン(保・憂慮する科学者同盟)  
商業化ベースで、遺伝子組み換え作物が大量生産されようとしている今、環境(生態系)へのリスクを根本から検証する。 定価2100円

## だれでもできるごみダイエット

最新刊●崎田裕子(環境ジャーナリスト・元気なごみ仲間事務局長)  
徹底なごみ減量に成功した実践ノウハウのすべてをイラストで解説します。ごみをなくして心豊かに暮らそう。 定価1365円

## だれでもできる生ごみ堆肥化大作戦

好評3刷●有機農産物普及・堆肥化推進協会編 定価1365円  
家庭の生ごみは貴重な資源。燃やさないで土へ還す実践マニュアル。

合同出版 東京都千代田区神田神保町1-52  
☎03(3294)3506・fax03(3294)3509 税込

## 図説大百科世界の地理《全24巻》

田辺 裕=監修 A4変型判 各148頁 本体各7600円  
全巻完結好評発売中 揃本体価格182,400円

## 世界地理大百科事典《全6巻》

■田辺 裕=総監修 B5判 既刊3冊■  
①国際連合、②アフリカ、③南北アメリカ/好評発売中

## オセアニア

図説世界文化地理大百科(18回配本) 本体28000円

2000年一春

### 朝倉書店 総合図書目録

■CD-ROM版図書目録(ハイブリッド版)も有、ご請求下さい。

**朝倉書店** 東京都新宿区新小川町6-29  
〒162-8707 ☎03-3260-7631

## 半分は表紙が 目的だった



100冊のペーパーバックスにアメリカを読む/片岡義男 若きケネディのベストセラーから『わんぱくデニス』まで、約半世紀前の100冊を精選。美しい写真とエッセイで読むアメリカン・グラフィティ。2520円(税込)

**晶文社** 東京都千代田区外神田2-1-12  
電話03(3255)4501



## ミステリーの本棚

全6巻・平均予価2400円

四六判変型・上製ジャケット装・平均300頁

☆第一回配本 6月刊 予価2400円

トレント乗り出す E.C.ベントリー  
ISBN4-336-04242-X

四人の申し分なき重罪人 チェスタトン  
箱ちがい スティーブンスン&オズボーン  
銀の仮面 H.ウォルポール  
怪盗ゴダールの冒険 F.I.アンダーソン  
悪党どものお楽しみ P.ワイルド

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15

Tel.03-5970-7421 Fax.03-5970-7427

伝承や古典文学に現れた妖怪の正体を、  
絵画や年中行事・芸能・郷土玩具の写真など  
豊富な図版とともに探る。

## 日本の妖怪百科

絵と写真でもののけの世界をさぐる

[監修] 岩井宏實

[全5巻]

構成 ①山の妖怪 ②水の妖怪 ③里の妖怪  
④屋敷の妖怪 ⑤妖怪を調べる手引き・索引

◎体裁◎

A4変型判(280×210ミリ)/上製本(図書館向堅牢造本)、  
縦組、18綴/各巻平均56頁(各巻4色カラー16頁)、総ルビ

揃本体15,000円(税別) ※セット販売のみ

■小学校中学年〜 ■NDC388(民俗)

**河出書房新社** 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2  
TEL03-3404-1201

限りなく広がる知識の世界 辞典550点突破!

## 集団語辞典

米川明彦編 警察・新聞・銀行・病院などの職業集団で使われる言葉を20年にわたり収集した初の本格的な辞典。四六判 856頁 本体5800円

## 日常の気象事典

平塚和夫編 二十四節気を追いながら身近な気象現象をわかりやすく解説。日常の生活に密接した興味深い読み物。A5判 474頁 本体3200円

## 高校野球甲子園全出場校大事典

森岡 浩編 本体2800円

**東京堂出版** 東京都千代田区神田錦町3-7  
〒101-0054 ☎03(3233)3741

## 思春期の性といのち

four seasons of teen-ager II

産婦人科医の出会った子どもたち



上田 基 (産婦人科医)

新しい生命が誕生する瞬間は、  
何ものにも代えがたい。  
幸せな妊娠・出産・育児をしてほしい。産婦人科医が「十代の性」の現実と、生命の輝きをえがく。  
保護者、教師必読の一冊。

四六判・美装カバー/168頁/1600円

**ミネルヴァ書房** 京都市山科区日ノ岡堤谷町1  
TEL075-581-0296 ※価格税別